

1. 本活動設定の理由

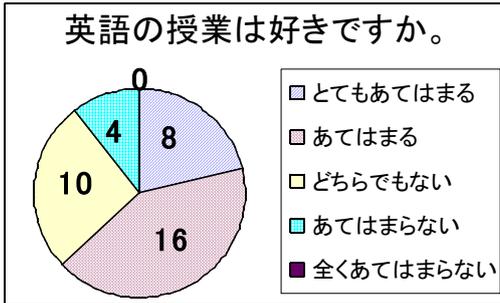
○こんな児童だから

本学級の児童（男子 20 名,女子 19 名）は，第1 学年より年間 35 時間の英語活動に取り組んできており，ALTとの授業も年間10 回ほど行ってきている。これまでにあいさつや自己紹介の仕方，天気や日時，誕生日の言い方，好きなものについての言い方や尋ね方などの言い方に慣れ親しんでいる。

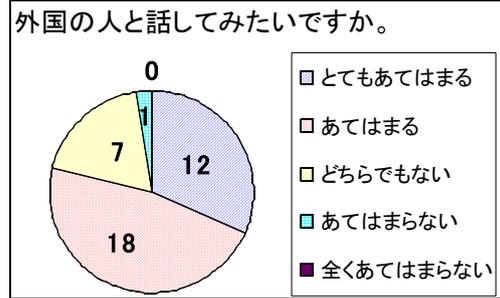
本学年においては，学校案内の仕方や空港での会話など，体験的で実用的な活動に取り組んでいる。

資料 アンケート調査の結果（学校以外で英語を習っている児童・・・13名）

○ 英語活動の時間は好きですか。



○ 外国の人と話してみたいですか。



英語活動が好きかどうかの「あてはまらない」「どちらでもない」と回答した理由として、

- ・インタビューが苦手だから
- ・英語の言い方が分からないから
- ・話すことが苦手だから

などがあげられた。

また「とてもあてはまる」「あてはまる」と回答した理由として

- ・英語のゲームが楽しいから
- ・外国の行事などのことが分かるか
- ・実際に使えそうな英語を教えてもらえるから

などがあげられた。

外国の人と話してみたいかの回答については、「とてもあてはまる」「あてはまる」は，クラスの8割近くいた。

この結果からも，児童は外国の人と話したいと願いつつも，言い方が分からないなど英語で話すことへの抵抗がうかがわれる。そこで，児童が興味を持ちそうな内容を取り上げ，児童の知的な欲求について自由に尋ねることができる場の設定の工夫が必要と考える。

○こんな資料で

児童が普段英語活動で学習したフレーズが使える，興味を持ちそうな内容を取り上げ，段階を追って提示していく。内容については，外国の文化で，身の回りにあるあまり意識されていないもの，明らかに自分たちの文化とは違うもの，共通性のみられるものなどを取り扱うようにする。

○こんな「3ステップ」の工夫で

各段階において，外国の言葉や文化に対する興味・関心が高まるように，下記のような活動の工夫を行っていく。

(1)「ステップ1」では、

ALTからの情報を受け止め，話題に対する意欲・関心を高めることをねらいとしている。話題の入り口として，分かってほしいと聞いていたり想像を膨らませて聞いていたりできるように，情報を制限して提示し興味が高まるようにする。ここでは，絵や写真を使うなど，推察しながら聴くことができるような資料を準備しておくようにする。

(2)「ステップ2」では、

自分の生活経験や自国の文化と比較していくことを通して，異質性や同質性に気付いていくことをねらいとしている。外国文化との違う部分だけでなく，同じ部分にも目を向けさせることで，互いの良さに気付かせ，もっと知りたいという意欲を高めるようにする。その際，必ず，ALTなど人を通した活動や内容になるよう留意する。

(3)「ステップ3」では、

これまでの取組をきっかけに広い世界に興味をもったり，もっと知りたい調べてみたいという気持ちを高めたりすることをねらいとしている。ワールドトリビアタイムカードを準備し，一つ的话题をまとめていく時間を取るようにする。ポートフォリオ形式で残して

いくことによって、関心の高まりを実感したり知ることの良さに気付いたりすることができるようにする、

2. 目標

- 外国の言葉や文化への興味・関心を高める
- 外国の文化や自国の文化について、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。

3. 計画

活動内容	ねらいと主な内容		
	ステップ 1	ステップ 2	ステップ 3
どこの国のスポーツ？	<p>イギリスのスポーツを教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ発祥国クイズをし、その中からイギリスで人気のあるクリケットについての話を ALT から聞く。 	<p>日本発祥のスポーツには、どんなものがあるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本発祥のスポーツについて、ALT に教える。 	<p>いろいろなスポーツの発祥国について知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの身近にあるスポーツの発祥国や日本では馴染みのないスポーツについても知る。
ピクトグラム (絵文字・絵単語)	<p>イギリスの標識や交通について教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリスの標識についてや、日本との交通の違いなどを知る。 	<p>日本の標識について ALT に教えてあげよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の標識の意味を ALT に教えて行く中で、色の意味について考える。 	<p>誰にでもわかるピクトグラムを作ってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標識以外のピクトグラムを知り、誰にでも分かるピクトグラムを作る。
世界のお金	<p>イギリスのお金の話を聞いてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT にイギリスのお金の種類や印刷されている人物についての話を聞き、知りたいことを尋ねる。 	<p>日本のお金には、どんなものが印刷されているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本やイギリスの紙幣に印刷されている人や物についての共通点や相違点を考える。 	<p>世界のいろいろな国のお金を調べてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな国のお金について気付いたことを話し合う。

4. 本時 平成19年 11月19日(月) 5校時 多目的ホールにて

5. 本時指導の考え方

本学級の児童は、前回までの活動で ALT の国や日本のピクトグラム(絵文字)について知り、自分たちで、わかりやすいピクトグラムを作ってきた。その作成活動においては、ワールドトリビアタイムで得た情報を活用したり ALT に自分の作ったものを紹介したりする姿が見られた。

本時の活動では、お金を話題にし、お金に印刷されている人物に焦点をあてて活動を展開していく。本日の学習内容"Who is this?"では、人物についての内容であるため、トリビアタイムの内容の関連性や学んだフレーズを使うという点において既習の活動が生かされると考える。

また、お札の肖像については、世界各国歴史上の人物が多く、現在日本の歴史を学んでいる児童にとっては、大変興味深い内容であると思われる。

そこで、ステップ1では、ALT によるイギリスのお金の話を通して、外国の人や文化への興味を高めるようにする。お札に印刷されている人物について ALT に質問していくことで、日本のお金や世界のお金のことについても「もっと知りたい」という思いを高めていくようにする。

6. 本時授業仮説

本時におけるワールドトリビアタイムにおいて、ALT の国のお金に関する話を聞く場を設定すれば、外国の人や文化に対する関心が高まり、興味をもって ALT と関わろうとすることができるであろう。

7. 本時の目標

- 自国や諸外国のお金について興味・関心を高める。
- 自国や諸外国のお金について積極的にコミュニケーションを図ろうとする。

8. 準備

教師：イギリスのお札 ダーウィン・エリザベス二世 写真
児童：ふりかえりカード

9. 展開

		ねらいと主な活動	HRT (JTE)	ALT
ステップ1 (本時)	イギリスのお金	<p>イギリスのお金の話について聞いてみよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> ALT と JTE の会話を聞き、今日の話題の内容をつかむ。 印刷されている人物について、ALT に質問する。 イギリスの紙幣に印刷されている人物についての話を聞く。 感想を書く。 	<p>ALT: I brought some money. JTE: Oh, really. Please show them. ALT: OK. This is £ 20 and the other is £ 10 . JTE: Who is this? ALT: Do you know who this is ?</p> <p>・ £ 20 と £ 10 に印刷されているエリザベス二世とダーウィンの拡大写真を用意し、人物をイメージしながら話が聞けるようにする。</p>	<p>・ Talk about 2people. She is queen Elizabeth. She lives in Buckingham Palace. He is Charles Darwin. He is a scientist. ・ They have made a great contribution. ・ Ask them who is printed on Japanese money.</p>
	日本のお金	<p>日本のお金には、どんなものが印刷されているのだろう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 前時をふりかえり、日本のお金（紙幣）に印刷されている人物について知る。 紙幣に印刷されている人物について考える。 日本やイギリスの紙幣に印刷されている人や物についての共通点や相違点を考える。 感想を書く。 	<p>JTE: Last time, we leant about British money. I brought some Japanese money today. ALT: I always use Japanese money. But I don't know Who this is? Do you know them?</p> <p>・ 会話例を用い、前時が想起しやすいようにする。 ・ He (She)～の文を使ったり身振りなどを交えながら人物をALTに説明するようにする。 ・ お金を通して日本とイギリスとの共通点や相違点に気付くようにする。</p>	<p>・ Ask them who is printed on Japanese money. ・ Who are they?</p>
ステップ2	イギリス	<p>日本</p> <p>有名な人物 自然や動物、植物</p>	<p>イギリス</p> <p>有名な人物 その人物に関係のあるもの</p>	
		<p>世界のいろいろな国のお金を調べてみよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> トリビアカードを見ながら前時までの学習をふりかえる。 日本やイギリス以外のお金についての特徴を知る。 A アメリカドル B イギリス ポンド C ユーロ D ニュージーランドドル E 日本 それぞれの国のお金について気付いたことを出し合う。 感想を書く。 	<p>ALT: These are beautiful! I've never seen any money like this. Where is this money from?</p> <p>・ 各国の紙幣をコーナー毎に置いて、手にとって見られるようにしながら気付いたことをトリビアカードに書き込めるようにする。 ・ どの国の紙幣かは、知らせずに、交流の際に考える。 ・ それぞれの国の紙幣の特徴を日本の紙幣と比較しながら出し合うようにする。</p>	<p>・ 児童と一緒に見て回るようにする。 ・ 児童と一緒にどこの国のお金かを考える。 ・ I think this is from America.</p>
ステップ3	いろいろな国のお金			